

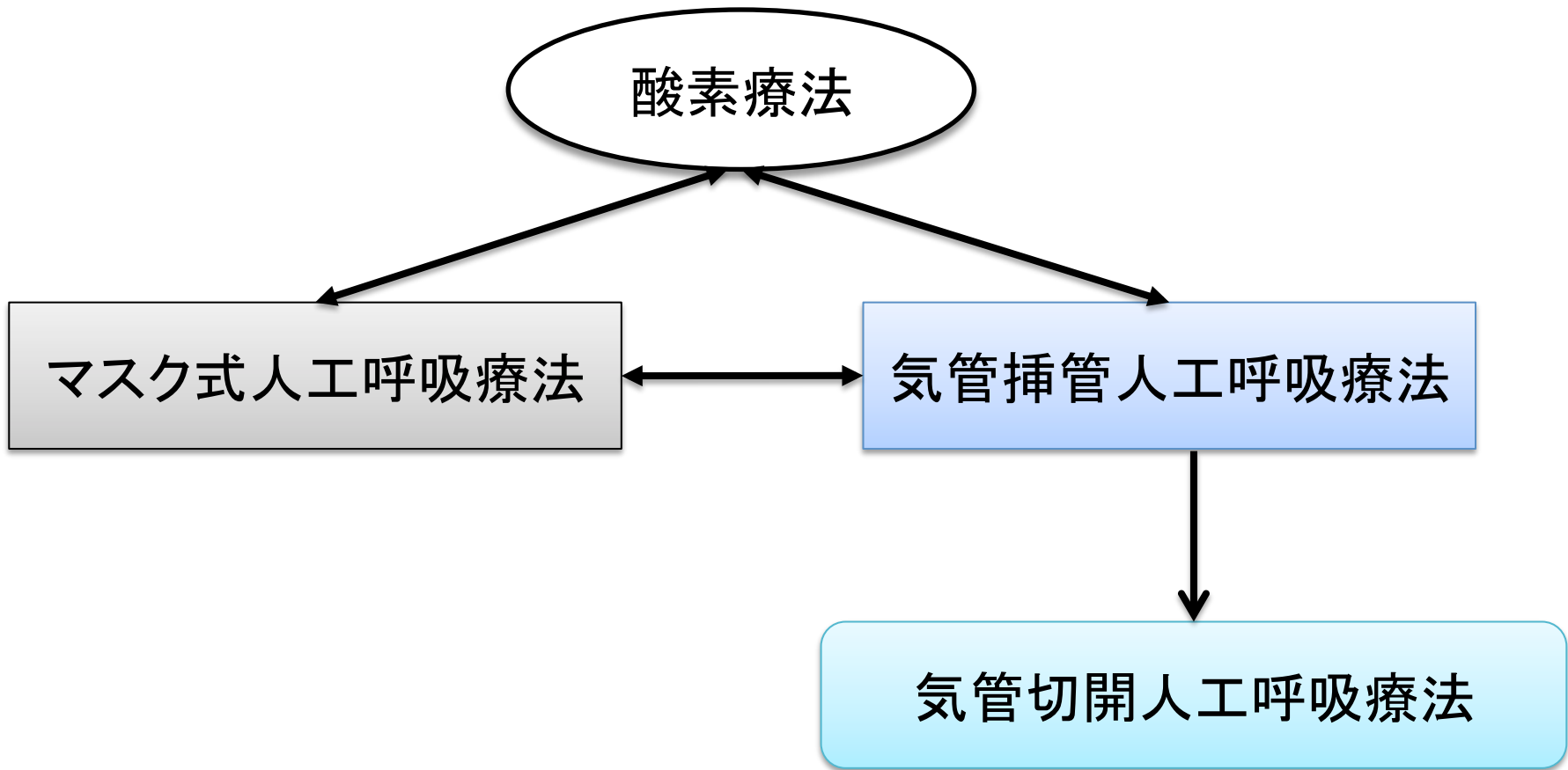
酸素療法

マスク式 人工呼吸

気管挿管 人工呼吸

気管切開 人工呼吸

呼吸療法の流れ



酸素療法



酸素の濃度が低いときに鼻または口から酸素吸入を行うのが酸素療法です。

酸素療法でもからだの酸素が上がらないときに人工呼吸が必要な場合があります。

人工呼吸器の種類

マスク式人工呼吸器



気管挿管人工呼吸器



気管切開人工呼吸器



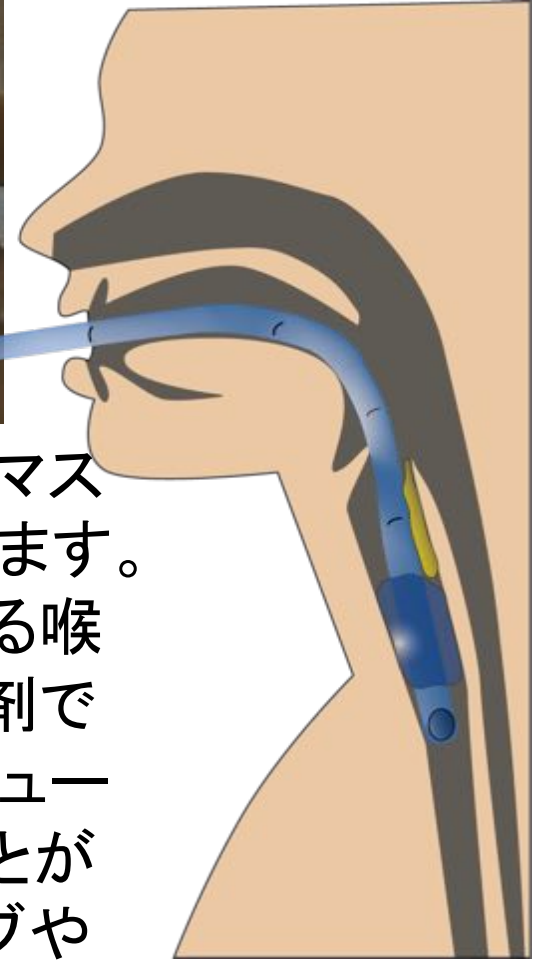
マスク式人工呼吸



人工呼吸器から作り出された酸素を調節した空気を鼻、口と鼻、顔全体を覆うタイプなど様々なマスクを介しておこなう人工呼吸です。

患者さんの状態によりますが、会話や飲食も可能です。より確実な人工呼吸管理が必要な場合は気管挿管人工呼吸管理が必要です。

気管挿管 人工呼吸



気管チューブを喉の奥、気管内に留置します。マスク式人工呼吸器に比べ確実な人工呼吸ができます。その一方で、喉の奥にチューブが入ることによる喉の違和感が強くなります。そのため鎮痛・鎮静剤で寝ていただくことが多くなります。一度入れたチューブは状態がよくならなければ基本的には抜くことができません。気管挿管は2週間ぐらいがチューブや気管粘膜の限界とされています。状態が改善しない場合、気管切開をすることになります。

気管切開



気管切開とは手術で喉を切開し、チューブを気管に留置します。手術は麻酔をし、その後の管理も気管挿管に比べ喉の違和感は少なくなります。長期的な人工呼吸管理に必要な処置となります。状態がよくなれば声を出すチューブへの交換やチューブを抜くことも可能です。しかし気管切開人工呼吸器管理となると長期的に療養する場所に制限がでてくることが多いのが現状です。

呼吸療法Q&A

Q1.気管挿管とマスク式人工呼吸の違いとは何ですか？

A1.気管挿管は医師が喉の奥に気管チューブを留置します。患者さんの体型や状態によっては大変難しい手技となります。マスク式人工呼吸は酸素マスクよりも漏れが少ない特殊なマスクを使用しますが、看護師でも脱着が可能です。気管挿管に比べストレスが少ないメリットがあります。

Q2.気管挿管をした場合、そのチューブを途中で抜くことはできますか？

A2.一度気管挿管したらそのチューブを抜くことができるのは状態が改善してからです。状態が改善していなのにチューブを抜くことは原則としてできません。そのため気管挿管をおこなうかどうかは十分に考える必要があります。

呼吸療法Q&A

Q3. マスク式人工呼吸器は途中でやめることはできますか？

A3. マスク式人工呼吸は状態が安定していたらマスクを外すことは簡単にできます。

Q4. マスク式人工呼吸器はどれくらいの期間付けていられますか？

A4. マスク式人工呼吸器は数日間付ける方から数週間付ける方もいます。病気によっては在宅で付けている方もいます。

Q5. マスク式人工呼吸器による苦痛はありますか？

A5. マスク式人工呼吸器を装着すると慣れるまではマスクの違和感が強い患者さんがいます。また人工呼吸器を装着しているためベッド上安静が必要なためからだの動きに制限があります。

呼吸療法Q&A

Q6.気管挿管をおこなう患者さんは主にどのような患者さんが適応なのですか？

A6.呼吸がうまくできない患者さんが主な適応となります。呼吸以外でも意識が戻らない場合や、痰が出せないなど状態によっては人工呼吸を継続する場合があります。

Q7.気管切開は大きな手術ですか？

A7.気管切開手術は病室で行う場合が多く

概ね1時間以内に終了する比較的小さな手術です。しかし出血や気道閉塞などの合併症もあるため術後慎重な観察をおこないます。

呼吸療法Q&A

Q8.気管切開後の療養先にはどのような施設がありますか？

A8.気管切開だけと気管切開と人工呼吸管理を併せて行っている場合で療養先がことなります。在宅ではどちらでも療養が可能です。気管切開と人工呼吸管理を行っている場合、病院への転院調整が必要です。早いケースでも転院に3ヶ月ほどかかります。

Q9.気管挿管やマスク式人工呼吸器についてもう少し詳しくお話ししたいときはどうしたらよいですか？

A9.主治医、病棟看護師へお声かけいただければ説明いたします。また当院には呼吸を担当する看護師もいますのでお気軽にご相談ください。

呼吸療法Q&A

Q7.気管切開は大きな手術ですか？

A7.気管切開手術は病室で行う場合が多く

概ね1時間以内に終了する比較的小さな手術です。しかし出血や気道閉塞などの合併症もあるため術後慎重な観察をおこないます。

Q8.気管切開後の療養先にはどのような施設がありますか？

A8.気管切開だけと気管切開と人工呼吸管理を併せて行っている場合で療養先がことなります。在宅で療養可能な場合はどちらでも療養が可能です。気管切開と人工呼吸管理を行っている場合、病院への転院調整が必要です。早いケースでも転院に3ヶ月ほどかかります。